

ひばり通信

訪問看護ステーションひばりが提供するフリーペーパーです

Toda Medical Group
戸田中央医科グループ
Vol.38
2021年6月発行

夏型肺炎に気を付けよう

梅雨は古来[徼雨(ばいう)]ともいい、じっとり蒸し暑い梅雨どきは、黴(カビ)の大繁殖シーズン。夏になるとよく風邪をひく、咳がいつまでも出る…もしそんな症状があったら夏型過敏性肺臓炎(夏型肺炎)かもしれません。



夏型過敏性肺臓炎(夏型肺炎)とは

急に痰のからんだ咳がゲホゲホ出て発熱したり、数週間も咳が止まらず息切れしたり、夏風邪のような症状がなかなか治らない場合は、「夏型過敏性肺臓炎」の可能性があります。これは夏に多い病気で、原因は「**トリコスポロン**」というカビの胞子を吸い込むことによるアレルギー反応です。肺炎を繰り返し、**悪化すると命にかかわる危険もあります**。トリコスポロンは、日当たりが悪く湿気の多い古い木造住宅などに多く発生します。特に雨漏りや床下浸水したことのある家は、壁紙の裏など、見えない所に大量繁殖していることがあるので要注意です。対策としては、常に換気をよくして湿気を防ぐことが大切です。

過敏性肺臓炎の特徴

- 特定の場所、毎年同じ季節になると咳がひどくなる。
- 家にいる時だけ症状がでる。外出先だと出ない。
- 同居家族に同じ症状がある。



「夏型過敏性肺臓炎」のアレルゲンになるカビ「トリコスポロン」

主な発生源は 水回り と エアコン内部

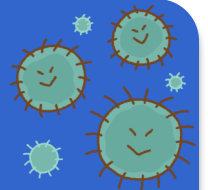


カビの除去と掃除で予防を

夏型肺炎がやっかいなのは、自宅にトリコスポロンが繁殖しているかぎり、症状を繰り返すことです。いちばん効果的な治療法は、転居して清潔な住宅に移ること、あるいはカビが繁殖している場所をすべてリフォームすることです。ですが現実には転居やリフォームもなかなか難しいでしょう。そこでまず**カビを除去し、再び繁殖しない環境をつくる事が重要となります**。

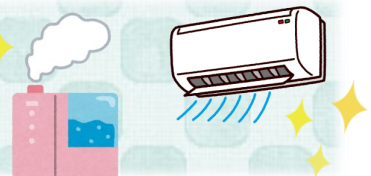
カビの繁殖しやすい条件

- | | |
|-----------|--|
| 栄養 | 糖類を好むが、それ以外のものも条件がそろえば分解吸収して栄養源にする。 |
| 温度 | 5～35℃の範囲で発育するが、20～30℃が最も増殖しやすい温度となる。 |
| 湿度 | 湿度が60%を超えると発生しやすくなり、80%を超えるとあっという間に増殖する。 |
| 酸素 | 少しの酸素で生育できる。 |



1. エアコン・加湿器・洗濯槽をまめに掃除しましょう。

2. 浴室・台所などの水回りは特に掃除をまめに行いましょう。



< お問い合わせ先 >

訪問看護ステーションひばり

〒359-0021
埼玉県所沢市東所沢1-11-6 イー・ストリート102

☎ : 04-2951-3667

関連施設：東所沢病院